

令和5年度 京都府立清明高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（計画段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>「自分を知り、人とかかわり、ポジションをとる人」を育成する。 そのために、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生徒に自信を返す。 2 安心して失敗できる環境づくりを推進する。 3 「教え込む教育」から「引き出す教育」への転換を図る。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 AI型学習アプリを用いた自学自習型の学び直し「フレスタ」や多面的・総合的な評価の導入により生徒の学習意欲が高まった。今後は生徒が主体性を発揮し、学ぶ楽しさを実感できるためのさらなる工夫が求められる。 2 希望・選択・ボランティア制の導入やプチイベントの実施等により学校生活への積極的な参加が見られた。今後も主体的・協働的な活動や社会参画の機会の充実を図ることが望ましい。 3 生徒情報の一元化や潜在的ニーズの把握等により、学習者起点による学校の魅力化が進んだ。 4 校内体制の確立により、個々の生徒に応じた指導の充実を図ることができた。今後もあらゆる教育活動のユニバーサルデザイン化に向け、外部連携や校内研修をより発展的に推進していくことが求められる。 5 持続可能な教育活動を実現するため、長時間労働の解消はもとより、「働きやすさ」や「働きがい」を感じつつ、健康や精神的な充足感を得られる職場づくりが求められる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 「学ぶ楽しさ」を提供するため、指導と評価の工夫改善や授業のデジタルトランスフォーメーションのための研究・実践を行う。 2 サードプレイス（家庭でも学校でもない場所）の活用と探究活動の導入を進め、生徒の主体的・協働的な活動や社会参画の機会を増やす。 3 「生徒をリスペクトする」という信念を共有し、内外の評価を活用しつつ、学習者起点による学校の魅力化を図る。 4 教育活動のユニバーサルデザイン化に向けた本校ならではの手法を研究・実践する。 5 ダイバーシティとワークライフバランスに係る取組を進める。